








小学生版

あたらしい児童書 NO. 227 2020. 9.29

遠軽町図書館
遠軽町大通南4丁目
TEL42-3632
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。
小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

<p>『雨の日は、いっしょに』 大久保 雨咲／作 ・ぼくはハルくんの黄色いかさ。でも、たまには別の人のかさになってみたいなあ…。風に乗って空の旅に出たかさくん。ちがう世界を知って、初めて大事なことに気づくことができた黄色いかさくんの、冒険と成長の物語。(小初)</p>	
<p>『あしゅらのうでのお百姓』 作／まくの 明子 ・美しい白キツネに出会っためんどくさがりやのお百姓・きさく。ノネズミをつかまえたお礼に六本の腕をもらい、村一番の働き者になるが、そこには秘密があり…。ユーモアあふれる絵本。(小初)</p>	
<p>『山はしっている』 リビー・ウォルデン／作 ・山に生きるものは、山にみまわれている。朝一番の光が、鳥たちをふたたび目ざめさせる。夜が朝になるように、世界もかわっていく。かわらないのは、生きること。静かな文章と美しいイラストで綴るネイチャー絵本。(小初)</p>	
<p>『こうまのマハバット』 市川 里美 ・ジャミーラはキルギスの村にすむ女の子。この夏初めて、おじいちゃんとおばあちゃんの住む山で過ごすことに。山についた次の日の朝、足にけがをした子馬がいた。ジャミーラはできるだけのことをしてあげたいと思ひ…。(小初)</p>	
<p>『ガリガリ君ができるまで』 岩貞 るみこ／文 ・みんなが大好きなアイス「ガリガリ君」はどうやって作られているの？味、工場の中、イラスト…。ガリガリ君には、愛と情熱があふれていた！ガリガリ君のヒミツがよ〜くわかる、ドキュメント小説。(小中)</p>	
<p>『まちがいなく名探偵』 作／杉山 亮 ・探偵・ミルキー杉山といっしょに謎解きを楽しみ、犯人を当てよう！森の民宿で事件にまきこまれる「どちらのカップがいいですか？」、探偵仲間の恋を応援する「ツルまつなの恋」など3編を収録。(小中)</p>	
<p>『ルドルフとノラねこブッチー』 斉藤 洋／作 ・もとは飼いねこだったけど、飼い主が引っ越してしまい、いまはノラねこのブッチー。そんなブッチーが「文字をならおうかな」と言い出し…。さらに成長したルドルフとブッチーたちが大活躍する「ルドルフシリーズ」第5弾。(小中)</p>	

『8・9・10! (バクテン)』 板橋 雅弘/作
 ・お父さんがいない、小4の女の子。夜勤のお母さんを気遣う女の子は、いつも行く広場で、知らないおじさんから、バク転を覚えてもらうことに…。名前も知らないおじさんと女の子のゆるくてあたたかい物語。
 (小中)



『コottonのティータイム』 あんびる やすこ
 ・リフォーム支店にやってきたパティシエ魔法のミーシャとめしつかい猫のテオ。テオは有名なティーマスター。コottonはテオにスカウトされて「かんぺき」なパーティーのお手伝いをすることに…。 (小中)



『モヤモヤそうだんクリニック』 池谷 裕二/文
 ・いじめがなくならないのはなぜ? 心って人間のどこにあるの? 256名の小学生から寄せられた「なぜ?」「どうして?」に、脳研究の第一人者と人気絵本作家が“科学”と“ユーモア”で向き合う。 (小中、小上)



『どっちの勝ち?』 文/トニ・モリスン
 ・思いどおりにならない世界で生きぬくために、必要な知恵はなに? 現代社会に飛び出した「アリとキリギリス」「ライオンとネズミ」などのイソップ物語を通して、「生きるバネ」ー自信と勇気ーを見いだすチャンスを伝えます。 (小中、小上)



『恐怖のひき肉ソーセージ』 アルビン・シュワルツ/編
 ・妻とお金のことでけんかをした肉屋のブランドは、かっとなって妻を殺してしまった。死体はソーセージ用のひき肉にして…。「恐怖のひき肉ソーセージ」ほか、ふしぎで怖い物語を多数収録する。映画の原作。
 (小上)



『ギフト ぼくの場合』 今井 恭子
 ・父親が家を出てから思い出のギターにふれていなかった優太。しかしギターが得意だった優太は、小学校のバンド演奏で、怪我をした友だちの代わりにギターを弾くことに。優太がバンド練習のなかでつかんだものは…。 (小上)



『まほろばトリップ』 倉本 由布
 ・幼い頃に行方不明になった兄を探すため、奈良県高市郡明日香村へやってきた真秀。勾玉の導きで辿り着いた先にいたのは、有間皇子? 額田王? ここはもしかして…。日本書紀を下敷きにした、時空を超えたファンタジー。 (小上)



『じりじりの移動図書館』 廣嶋 玲子ほか
 ・移動図書館ミネルヴァ号の車内には、たーくさんの本! でも、ご用心。本に夢中になって、気がついたらそこは、あなたの知らないセカイかも…。児童文学界のフロントランナーたちが描く“五人五様”のりレー小説。。 (小上、中)

